

おいしさを笑顔に

KIRIN

CORPORATE PROFILE

会社案内

キリンビバレッジ株式会社

ブランドを経営の基軸において、 お客様との絆を育んでまいります

代表取締役社長

首藤 由憲

キリンビバレッジの前身は1963年に創立した「自動販売サービス株式会社」です。その後「キリンレモンサービス株式会社」「キリンレモン株式会社」と社名を変更し、1991年に現在の社名であるキリンビバレッジ株式会社へ変更しました。

当社グループはキリングループにおけるソフトドリンク分野の中心的存在であり、「新しい飲料文化の創造」という経営理念のもと、グループの共有価値である「食と健康」に、ソフトドリンクの立場からお客様に楽しさや新しい価値を提供しています。また、ブランドは常にお客様と我々企業との間にあり、その「絆」となる存在であると考えています。だからこそブランドを基軸においた経営が重要であり、我々はお客様にブランドをいかに愛してもらうかを常に考えながら日々の活動に励んでいます。

今後日本国内の人口は減少に転じ、年齢構造が変化し、ライフスタイルの多様化もいっそう進むと予想され、変化への対応は全ての企業にとって大きな課題となっていきます。当社の行動指針の中に「『街の風』を肌で感じとり、新たな生活価値を提案・提供しよう」という一節があります。これはお客様と接する現場から発想し、革新していくことを明確に示し

たもので、当社で推進している品質保証体制の強化はその指針に則った取り組みの一例といえるものです。お客様が食品の安全性に寄せる関心や要望の高まりに対して、企業の側でもお客様の満足や高い信頼を得るために品質向上と安全性確保を最重要課題としています。当社では常にお客様の期待に応えられる会社でありたいとの考えから、ホームページ上で「WEB品質保証室」を開設し、より早くより判り易くお客様に品質の情報をお届けしています。

さらに、国内の事業ばかりでなく海外でのソフトドリンクビジネスにおいてもキリングループ内の連携およびグループシナジー創出に向けて役割を担っていきます。また、企業は社会との共生が重要と考え、企業の社会的責任を果たすべく、コンプライアンスはもとより環境対策や社会貢献活動についても積極的に取り組んでいきます。

お客様が当社の商品を飲んでいただき、美味しさや安心感、さらに新しい価値を感じていただき、「笑顔」になっていただけることを心から願い、キリンビバレッジがお客様にとって無くてはならない企業であるように社員全員で努力してまいります。



キリンビバレッジ経営理念

キリンビバレッジは、
新しい飲料文化の創造をめざします。
キリンビバレッジは、
時代を先取りした質の高い商品とサービスで、
多彩で豊かな世の中の実現に貢献し、
社会と社員にとって夢のある存在であり続けます。

お客様に、食と健康を通じた楽しさや新しいよろこびにつながるご提案をめざします

キリンビバレッジならではの提案性のあるものづくりでお客様に「元気」をお届けします

常にお客様のニーズや飲用・購入実態を捉え、新しい生活スタイルや飲用シーンの創造をめざします。技術イノベーションによる中味開発・容器開発を実現し、「おいしさ提案」はもちろん、「健康提案」「生活提案や飲用シーン提案」など、「お客様の笑顔創り」につながる様々な提案を行います。

基盤ブランドからの新提案と長期トレンドを見据えた新しい市場創造の両面から、お客様に様々な「元気」をお届けしていきます。

クオリティーの高いマーケティングでお客様に新たな価値をお届けします

お客様から高いご支持をいただいている「キリン 午後の紅茶」「キリン ファイア」「キリン 生茶」「キリン アルカリイオンの水」「ボルヴィック」の基盤ブランド。これらのブランドは、市場リサーチ力によるお客様のニーズの把握と、長年培われたマーケティングノウハウに支えられたものであり、当社の最大の強みです。

ブランドの育成は、ブランド毎に構成されたチーム体制により、商品コンセプトから味覚設計、広告宣伝などのプロモーションにいたるまで、一貫したブランドマネジメントを行っていま

す。また、グループ会社の連携による、「キリンの健康プロジェクト」から、健康・機能系商品にもチャレンジするなど、競争優位なクオリティーの高いマーケティングを推進しています。今後も、「お客様本位」の考えに立った、当社ならではの提案性のあるものづくりで、お客様に魅力ある商品・サービスをお届けしていきます。

全国を網羅する販売ネットワークと買い場づくりで、食の楽しさをお届けします

全国の主要都市に営業拠点を置いています。そして、迅速・的確に商品をお届けすることが可能な、大卸とダイレクト取引・自動販売機の販売ルートと併せ持ち、地域に根ざした営業活動を展開しています。

また、お客様の購買接点をきめ細かくフォローするため、交通・レジャー・飲食店・自動販売機などのチャンネル毎に専門担当を設け、お客様のニーズにフレキシブルに対応できる営業体制を構築しています。

店頭では、季節に応じた催事イベントや棚割り提案など、地域ならではの最適なお提案を行うとともに、キリングループ各社と密な連携を図りながら、お客様にとって魅力ある買い場作りを展開しています。

今後もお客様に食を通じた楽しさや新しいよろこびにつながるご提案をめざしていきます。

2012年商品



キリン 午後の紅茶

常に日本の紅茶飲料市場をリードし続ける紅茶飲料No.1ブランド(※1)として、紅茶カテゴリーの魅力を広げる活動を展開しています。



キリン 生茶

2000年の発売以来、独自のブランド価値で緑茶をはじめとした無糖茶市場をリードしてきた「キリン生茶」。2012年、「生茶」を一新して発売するとともに、「生茶」ブランドから、健康イメージの高い「野菜」が入った「生茶 緑の野菜のブレンド茶 plus」を新発売することで、「爽快」「元気」「心も体も生きかえる」という独自の価値をさらに進化させ、無糖茶市場のさらなる活性化を目指します。



キリン アルカリイオンの水

富士山がはぐくんだおいしい天然水をアルカリイオン化した、口あたりまるやかなやさしい味わい。毎日の水分補給や、コーヒー、料理にも。家族の健やかな毎日を、食卓からサポートします。
※2Lペットボトルの採水地は静岡県御殿場市(富士の伏流水)、500mlペットボトルは静岡県焼津市です。



キリン ファイア

常に進歩を続けるブランドとして、世代別の味覚差や飲用シーンに合わせ、更なる品質の向上と新たな提案を行っていきます。缶コーヒーの「ファイア」では、資産である「品質の高さ」を武器に、ヘビーユーザーに最も支持されるブランドを目指します。ペットボトルコーヒー「ファイア ネオ」では、ビジネスパーソンに向けた「デスクトップコーヒー」という新たなパッケージコーヒーのありかたを提案していきます。



ボルヴィック

フランスで生まれたナチュラルミネラルウォーターです。約1万年前の火山活動で生まれた特別な地層をゆっくりくぐりぬけて生まれた軟水で、すっきりまるやかな口当たりが特長です。また、自然環境に配慮した新ボトル「グリーンボトル」を順次導入していきます。

基盤
ブランド



キリンレモン

1928年の発売以来、さわやかな飲み口が特長の透明炭酸飲料のロングセラーブランドです。「純水使用・果実由来の香り・甘味料不使用」にこだわった、家族みんなで楽しむ「あんしん炭酸」です。



トロピカーナ

1947年アメリカで誕生し、日本でも100%果汁No.1ブランド(※2)としてお客様にご支持を頂いています。「自然」「健康」「おいしさ」をテーマに、果実本来のおいしさを追求した品質の高い商品をお届けしています。

その他
主要商品

※1 株式会社食品マーケティング研究所調べ(2011年実績)
※2 キリン・トロピカーナ社調べ(2011年国内販売実績)

全国網羅の販売体制で地域に密着したオペレーションを構築

自動販売機チャンネルでは、全国の主要都市部をカバーするグループ自動販売機オペレーション会社を通じ、地域に密着した独自の販売体制を構築しています。また、自動販売機を主とし

た販売機器のメンテナンス業務をキリンメンテナンス・サービス社が全国を網羅してサポートすることにより、お客様に確実な商品提供を行っています。

キリンビバレッジグループ自動販売機関係会社 (2012年3月現在)

- ① 北海道キリンビバレッジサービス 北海道札幌市
- ② 函館ダイイチベンディング 北海道函館市
- ③ 仙台キリンビバレッジサービス 宮城県仙台市
- ④ 東京キリンビバレッジサービス 東京都千代田区
- ④ オリエンタルベンディング 東京都練馬区
- ④ キリンメンテナンス・サービス 東京都渋谷区
- ⑤ 東海食品サービス 静岡県沼津市
- ⑤ ファインドリンク 静岡県沼津市



- ⑥ 米久ベンディング 静岡県静岡市
- ⑦ 中部キリンビバレッジサービス 愛知県名古屋市
- ⑧ 関西キリンビバレッジサービス 大阪府大阪市
- ⑨ ケイ・ヴィコーポレーション 兵庫県姫路市
- ⑩ ビバックス 広島県広島市
- ⑪ 九州キリンビバレッジサービス 福岡県福岡市

キリングループの清涼飲料事業会社として、 海外飲料事業を支援します

キリングループのアジア・オセアニア地域を中心とした海外飲料事業の基盤の強化に向けて、「午後の紅茶」などのブランドマーケティングや商品・技術開発に積極的に携わっていきます。

中国商品



タイ商品



ベトナム商品



社会の一員として、お客様から信頼される企業であり続けるために

事業を通じたCSR

キリンビバレッジは自然と調和・共生する社会づくりを目指します。

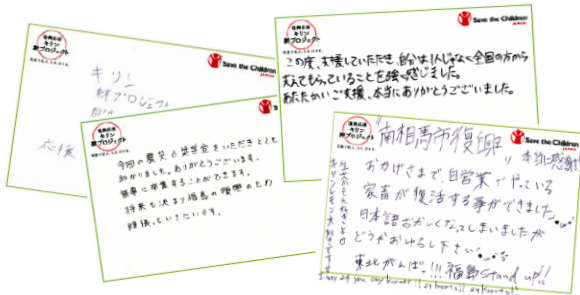
お客様、地球環境、社会(コミュニティ)、ビジネスパートナーや株主など、各ステークホルダーとの絆を深めることをテーマに、事業を通じて社会課題の解決に取り組みます。

ここでは2012年にキリンビバレッジが優先的に取り組みます4つの社会課題についてご紹介します。

子供の夢実現サポート

東日本大震災復興応援

キリングループの「復興応援キリン絆プロジェクト」の一環として、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協力して「キリンSCJ『絆』奨学金」を設立し、岩手・宮城・福島3県で農業の学び、経済的援助を必要とする高校生に対し、返還義務のない奨学金を2011年10月より支給しています。2012年も年間最大600名を支援し、被災地の将来を支える子どもたちの学びの機会をサポートします。



うれしい食生活の提供

自動販売機を通じた社会貢献

お客様へ商品を販売する場としてだけでなく、「社会貢献に気軽に参加できる機会の提供」としてとらえ、次世代育成支援となるベルマーク自動販売機や、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを啓発するピンクリボン啓発自動販売機などを展開しています。



ベルマーク自動販売機



ピンクリボン啓発自動販売機

地球環境の保全

資源循環への取り組み

日本で初めてメカニカルリサイクル*1ペット原料と植物由来*2ペット原料を組み合わせたペットボトルを2012年夏以降「生茶」ブランドなどの一部から採用します。導入当初は、メカニカルリサイクルペット原料10%、植物由来ペット原料最大27%からスタート。これにより、従来比で石油由来ペット原料の使用を37%、CO₂排出を約27%削減することができます。メカニカルリサイクルペット原料の比率を徐々に高め、資源循環への取り組みを進めます。

- *1 再生ペット原料をさらに熱・真空・清浄ガスで洗浄し不純物を除去する方法
- *2 サトウキビ由来(非食用)のエチレングリコールを原料として使用



うれしい食生活の提供

スリランカフレンドシッププロジェクト

「キリン午後の紅茶」の本格的味わいを支えてきたのは世界最大級の紅茶輸出国スリランカ*などから輸入された高品質の紅茶葉です。2006年に「キリン午後の紅茶」発売20周年を機に始めたスリランカの茶園に併設された小学校へ図書を寄贈する活動を、今年度より対象校を拡大して第二期スリランカフレンドシッププロジェクトとして推進します。

*FAOSTAT (国際連合食糧農業機関) 2010年調べ

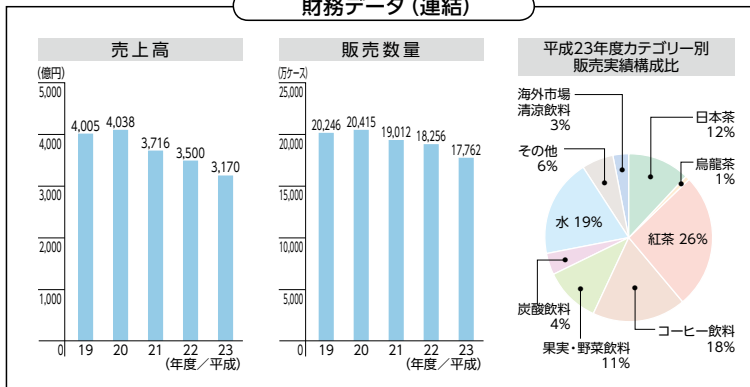


(プロジェクトマーク/写真: 第一回寄贈先の生徒と寄贈図書 2006年)

会社概要 (2011年12月31日現在)

商号 キリンビバレッジ株式会社
 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1
 TEL.03-6734-9310(代)
 ※登記上の本店所在地 東京都千代田区神田和泉町1番地
 設立 1963年4月
 事業内容 清涼飲料の製造及び販売
 資本金 84億1,650万円
 決算期 12月31日(年1回)
 従業員数 連結：4,243名 単体：1,647名
 ※上記従業員数には、臨時従業員を含んでおりません。
 また、単体の従業員数については、関係会社等への
 出向者を含んでおりません。

財務データ(連結)



沿革

- 1963年(昭和38年)4月 清涼飲料の販売を目的とし、自動販売サービス株式会社を設立し、自動販売機によるキリンレモン、キリンオレンジの販売を開始。
- 1971年(昭和46年)12月 キリンビール株式会社等と共同出資により北海道キリンレモン・サービス株式会社(現 北海道キリンビバレッジ株式会社)を設立。
- 1991年(平成3年)1月 キリンビール株式会社より清涼飲料事業部門の営業譲渡を受け、キリンビバレッジ株式会社に商号を変更。
トロピカーナプロダクツ社(アメリカ合衆国)と共同出資によりキリン・トロピカーナ株式会社を設立。
- 1996年(平成8年)3月 上海市錦江(集団)公司と共同出資により、上海錦江麒麟飲料食品有限公司を設立。
- 1998年(平成10年)4月 株式会社ビバックスと業務提携を開始(2004年完全子会社化)。
- 1999年(平成11年)1月 株式会社東北小岩井フローズンサービスと共同出資により仙台キリンビバレッジサービス株式会社を設立。
- 2002年(平成14年)11月 グループダノン社(フランス)、三菱商事株式会社との3社合併によるキリンMCダノンウォーターズ株式会社が業務開始。
- 2004年(平成16年)2月 統一企業(中国)投資有限公司と北京統一食品有限公司との合併により、北京統一麒麟飲料有限公司(現 北京飛騰麒麟飲料有限公司)を設立。
- 2005年(平成17年)5月 タイ バンコクにサイアムキリンビバレッジを設立/7月 キリンメンテナンス・サービス株式会社を設立。
- 2006年(平成18年)4月 中国上海市に製造販売会社、麒麟飲料(上海)有限公司を設立。/5月 キリングループ長期経営構想(KV2015)を発表。
- 2007年(平成19年)7月 キリングループが、純粋持株会社制に移行。/9月 中国上海市に製造販売会社、上海麒麟飲料有限公司を設立。
- 2008年(平成20年)5月 エースコック株式会社、エースコックベトナム株式会社との共同出資により、ベトナムにキリン・エースコック(ベトナム)飲料有限責任会社を設立。
- 2011年(平成23年)1月 キリンチルドビバレッジ株式会社を設立。
- 2011年(平成23年)5月 キリン・エースコック(ベトナム)飲料有限責任会社をベトナムキリンビバレッジ有限責任会社に社名を変更
- 2011年(平成23年)8月 キリンホールディングス株式会社と華潤創業有限公司の合併持株会社設立完了に伴い、中国で事業展開している4社を華潤麒麟飲料グループ傘下に移管
- 2012年(平成24年)2月 東南アジアにおけるグループ経営力強化のため、サイアムキリンビバレッジ社(タイ)とベトナムキリンビバレッジ社(ベトナム)をキリンホールディングス・シンガポール傘下に移管。

事業所一覧

東北地区本部	〒980-0822	宮城県仙台市青葉区立町27-21	TEL 022-222-4150
関東甲信越地区本部	〒101-0024	東京都千代田区神田和泉町1番地	TEL 03-5821-4070
首都圏地区本部	〒101-0024	東京都千代田区神田和泉町1番地	TEL 03-5821-4050
中部圏地区本部	〒451-0046	愛知県名古屋市中区牛島町2-5	TEL 052-562-6471
近畿圏地区本部	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1	TEL 06-6448-6731
中四国地区本部	〒735-8510	広島県安芸郡府中町大須2-1-1	TEL 082-563-8000
九州地区本部	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-1-1	TEL 092-722-2636

【工場】

湘南工場	〒253-0101	神奈川県高座郡寒川町倉見1620	TEL 0467-75-6161
舞鶴工場	〒624-0906	京都府舞鶴市倉谷1350	TEL 0773-75-6868

【研究所】

コア技術研究所	〒230-8628	神奈川県横浜市鶴見区生麦1-17-1	TEL 045-503-8310
商品開発研究所	〒230-8628	神奈川県横浜市鶴見区生麦1-17-1	TEL 045-503-8310

主要キリンビバレッジグループ各社

【国内飲料】

北海道キリンビバレッジ株式会社	東海食品サービス株式会社	株式会社ビバックス
北海道キリンビバレッジサービス株式会社	ファインドリンク株式会社	九州キリンビバレッジサービス株式会社
株式会社函館ダイイチベンディング	米久ベンディング株式会社	キリンメンテナンス・サービス株式会社
仙台キリンビバレッジサービス株式会社	中部キリンビバレッジサービス株式会社	キリン・トロピカーナ株式会社
東京キリンビバレッジサービス株式会社	関西キリンビバレッジサービス株式会社	キリンMCダノンウォーターズ株式会社
オリエンタルベンディング株式会社	株式会社ケイ・ヴィ コーポレーション	キリンチルドビバレッジ株式会社